



第 73 号 地域開発みちの会

みちの会だより



<http://www.aichi.michinokai.cc> 発行責任者 加藤美幸

平成 25 年度 総会・第 1 回全体会のお知らせ

日 時: 平成 25 年 4 月 25 日(木) 総会 10:00 ~
 第 1 回全体会 13:00 ~

会 場: 常滑市中央公民館 視聴覚室
 (常滑駅からおおよそ 600m。徒歩 10 分)

25 年度の役員・幹事の承認を仰ぎ、男女共同参画人材育成セミナーを修了された新会員さんのご紹介をいたします。

今回は役員任期などについて会則変更の議決をとる予定です。

第 1 回全体会では、みちの会全体で年間を通して行う活動のテーマ(主題)を決め、25 年度のタイトル(題名)を決定します。

いずれも各ブロックで検討を重ね、ご参加を下さい。

活 動 報 告

第 25 回知多・名古屋女性フォーラム

2 月 2 日 (土) 13:30~15:30 半田市雁宿ホール 講堂

参加人数: 330 名

演題: 「男女共同参画が日本を救う? ~女性ジャーナリストの視点から~」

講師: 山本恵子氏 (NHK名古屋放送局 報道部記者)



学生時代より身近な出来事に問題意識を持ち、報道記者として地道にキャリアを積む山本さん。講演では女性の活用とワークライフバランスの重要性について熱弁をされました。

そのあと、山本さんは《あなたのおうちの男女共同参画事情》について会場インタビューを行いました。

「(互いに仕事を持っているので) 帰宅が早いときは食事作りなどの家事分担など当たり前に行っています」という現役世代男性や、「(年齢の高い男性としては少ない例かもしれないが、社会参加をする妻を理解するので) 食事づくりなど家事の一部は行っています」と少し照れながらの回答があり、そのたび会場から拍手が湧きました。少しずつ男女共同参画が進んでいると実感されました。



DVDの音声がつながらなくて…



盛花は、低い演台とフラットな会場に結界をつくることを意識してデザインされました。赤やピンク主体の生花は華やぎと暖かさを演出してくれました。



受付担当、準備完了



フォーラムに協力をいただいた団体(敬称略)



- 手話通訳： 知多地区聴覚障害者支援センター「いるかの家」
- パソコン筆記・字幕入れ： パソコン筆記グループ「フィンガー10」
- 託児： 託児ボランティア「ゆりかご」



それぞれの持ち場で活動をして下さったみなさん、ありがとうございました。

フォーラムを支える



今年度新調をした30枚のスタッフジャケット。赤い色はエネルギーや行動力がある印象を持つと言われます。暖色でもあるせいか、準備の様子が暖かく見えました。



担当ごとに打ち合わせ中



今回は聴覚障がい者に対して「手話」と「パソコン要約筆記」二通りの《情報保障》を試みました。健常者のみなさんにも有効であったのはスクリーンに投影された日本語のキャプション(字幕)だったのではないのでしょうか。裏手では「フィンガー10」の4名のスタッフが、演台からの語り(音声情報)を文字情報に変換して下さっていたのですよ。



忠実なタイピングを試みる集中力に感嘆しました

第5回全体会・新年会

平成 25 年 2 月 11 日（月・祝） 11:00～12:00

南知多町 師崎荘 会議室 29 名参加

フォーラムの報告や反省などのあと、今回は提案として地域で活動する時に、知多・名古屋の「地域開発みちの会」では減免利用ができないので、「地域開発みちの会〇〇(市町名)」という名称にして申請をしている。こういう名称の使いかたについて会で統一した方がいいのでは という意見が出ました。

全体会のあとの新年会では、海の幸を堪能しつつ楽しい時間を過ごしました。



※ 市町での活動時に「地域開発みちの会〇〇(市町名)」という名称の使用する件について 3 月 4 日の幹事会で、地域での活動の幅を広げるためには便宜上使用してよい。と承認されました。

各ブロックの取り組み Dブロック

■ DVD「これからの男の生き方！イクメン・カジダン・共同メン」を使った活動

第4回 コラビアまつり参加

3 月 3 日（土） 10:00～15:00

大府市民活動センター（コラビア）

コラビアまつりに初めて参加しました。ボランティアや市民活動団体が主体となったバラエティーに富んだ企画が盛りだくさんでした。その中で、コーナーに設置したモニターをしっかりと見てくれた方はあまり多くありませんでしたが、600 名が参加した大きなイベントでの DVD 上映は男女共同参画の啓発のよい機会になりました。県制作の男女共同参画リーフレットの配布も行いました。 吉見久恵



「小学生とお父さんのためのお菓子作り教室」 参加

3 月 16 日（土） 9:30～12:00

半田市立さくら小学校家庭科室 参加人数：23 名

半田市食生活改善推進員連絡協議会主管の講座にみちの会会員 2 名が推進委員として参加しました。

DVD 本編の前半を上映の後、小松菜の蒸しケーキと椿の花餅紅白を作りました。小さい子どもたちをサポートするお父さん、おじいさんの動作からは、普段から台所に立っていることを察することができました。試食タイムに食育紙芝居の朗読をしました。

楽しく学びながら美味しく食べて満足をしてもらえたと思います。 都築広子



アンケート、わたしはこう読む！ (第4回)

ゆる気まんまん
連載中



昨年度行われた2つのアンケート。このコーナーでは「自分はココが気になる！」についてを自由に論じてもらいます。

県・「男性のための男女共同参画に関するアンケート」より

Q16 あなたは、男女共同参画社会の実現には、次のうち何が特に有効だと思いますか。(2つ以内で)

1. 長時間労働をなくすこと
2. 保育所を増やすなど、男女ともに働けるようにすること
3. 子どもの頃から、性別に関わらず、個性を伸ばす教育をすること
4. 男性の意識を変えること
5. 女性の甘えをなくすこと
6. わからない
7. その他(具体的に)

神奈川県に住む息子家族と大型赤ちゃん用品店へ行くと、赤ちゃんを抱っこしているのは、ほとんどパパ。今どきの抱っこ紐は、男性にも合わせてあり、イクメン姿はカッコよく見える。

アンケート結果を見ると、男女共同参画社会の実現には、「保育所を増やすなど、男女ともに働けるようにすること」の次に、「長時間労働をなくすこと」が有効となっている。わたしも社会全体の意識・システムを変えていくことが必須だと考える。パパたちは会社から早く帰ってきて、子育てにもっと参加したいと考えているのではないかと思うからだ。

育児休暇を取った三重県の鈴木知事など十県の知事が連携して、子育て支援策の充実を目指し、「子育て同盟」(仮称)を四月に発足させるという。私たちも子育て世代を応援し、男女共同参画社会を実現するために行動しなくてはならない。

山中和子

情報交差点

☆愛知県女性地域実践活動交流協議会 総会 5月23日(木) 10:00～ ウィルあいち

〃

講演会

13:30～ 講師：安藤明夫氏

(中日新聞「つれあいにもノ申す」編集担当)

☆つながれっとまつり2013

6月29日(土) 名古屋市男女平等参画推進センター

編集後記

4回にわたって、連載をした《アンケート、わたしはこう読む》。

今回は県委託事業アンケートのQ16にコメントをいただきました。県アンケートはすべて男性による回答です。Q16には記述回答欄がありました。書きこみのひとつをご紹介します。

「男性で回ってきた社会の構造や慣習を変えていかないと、例え女性が進出できる機会が増えたとしても結果的にうまく機能しない。と思う。これは、女性側の社会慣習や構造にもいえると思う」

今年に入ってこの回答が彷彿とされたニュースがありました。女子柔道強化選手が指導陣による暴力行為やパワーハラスメントに訴えをして、監督が辞任。現在のところは信頼が厚いとされる監督代行(男性)が次期監督昇格と報道されたものです。

女性監督就任は時期尚早のようでしたが、女性の指導者育成に力を入れるとの声明がありました。

理事に女性が就任する可能性はゼロではないはず。改革そのものに女性関わって欲しい。そしてその重責に応えることができる人材が育つことを願ってやみません。

編集委員 野端京子 052-823-5577

櫻井雅美 0569-72-0236